



企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
大竹 永悦

スピードと共創

当社は70年以上に渡り、愛知・蒲郡の地でプラスチックフィルム成形の実績を積んで参りました。プラスチックを取り巻く環境変化をバネに更なる飛躍をするため、長年培ってきた高機能製品の拡充と地域社会とも連携して取り組む資源循環型ビジネスを柱として、各種ニーズへの対応および社会課題の解決をはかっていきたいと考えております。多品種少量生産を厭わない社内体制、風通しの良いフラットな社風を通したスピード感をさらに磨き、これからもこの蒲郡から世界中に価値ある製品を提供していきたいと思っております。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年の売上高100億円を目指し、年率換算10%の売上伸長をはかる。高機能品（電池向け等）については新工場建設により生産能力を増強し、競合差別化を維持しながら拡販を目指す。自動車産業向けは海外市場をさらに開拓、汎用分野は資源循環ビジネスに転換して高付加価値化。財務基盤を強化した上でM&Aや企業連携も視野に入れる。

課題

- 新工場、新規導入設備の早期稼働
- 資源循環ビジネスの加速と高付加価値化
- 人材の育成と確保
- インドなど新興市場への拡販
- BCPも念頭においた企業連携の必要性

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 新工場、新規フィルム生産設備導入による高機能製品の供給体制、品質体制の拡充
- 新規リサイクル設備および二次加工設備の導入による資源循環型ビジネスの内製化と拡販
- 自社物流、品質管理体制の強化など、自社標準装備のブラッシュアップとスケールアップによる効率化

実施体制

- 大手顧客との独占供給体制の維持
- 中小企業の小回り性維持（スピード、多品種少量対応）
- 二次加工、リサイクル加工の内製化推進
- 資源循環ビジネスにおいては地域企業、自治体と連携
- 商社と協業して新興海外市場の深耕と製品輸出
- 人材育成（技術、環境分野、海外営業、マネジメント層）
- M&Aや連携で当社のビジネスモデルを移植拡大



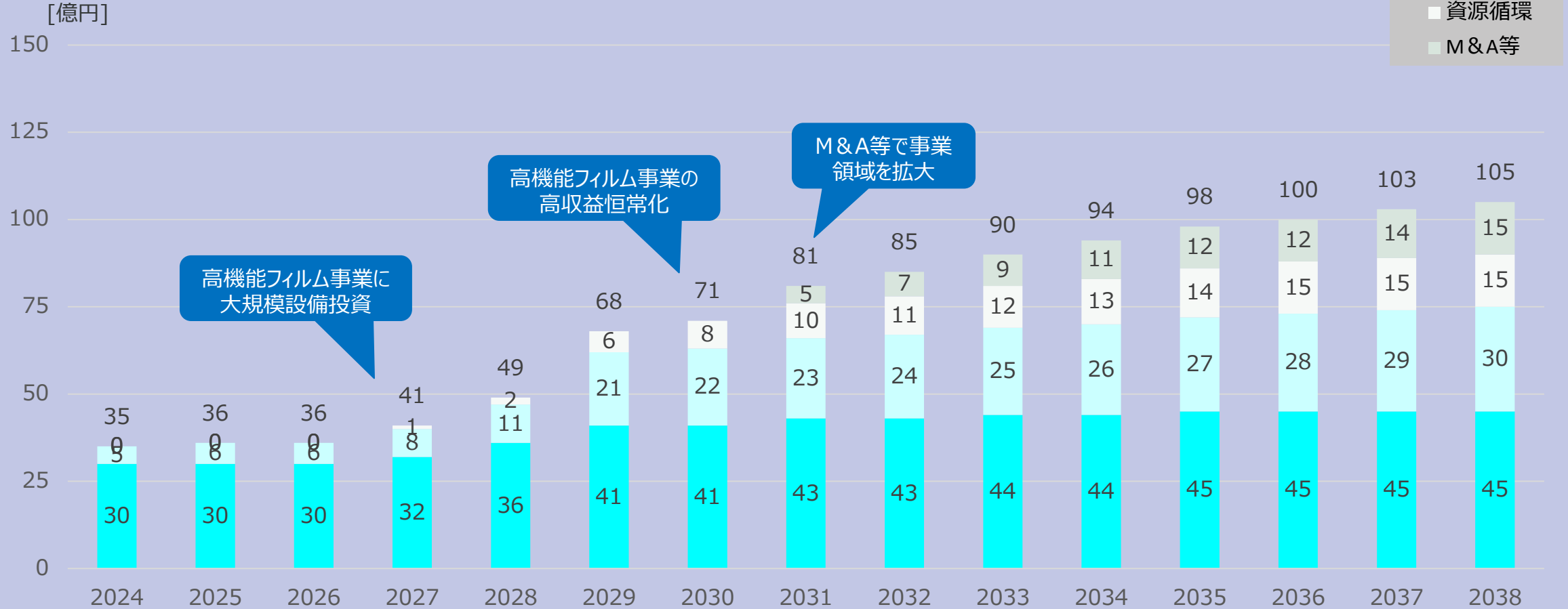
各種当社フィルム製品と用途先

○本社所在地：愛知県蒲郡市
○事業概要：各種プラスチックフィルム製品の製造販売、資源循環ビジネス

○常時使用する従業員：87名（2025年5月時点）
○現在の売上高：35億円（2024年12月期）
○法人番号：1180301010729
○Web：https://aipla.jp/

売上高100億円実現に向けた目標

売上高



100億
達成